

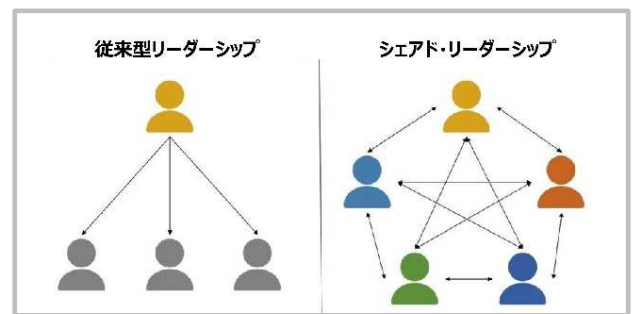
## チーム全員がリーダーになる シェアド・リーダーシップ

ビジネス環境や働き方の多様化により、従来のリーダーシップでは対応しきれない状況が増えつつあるようです。そのような中で、柔軟で迅速な対応がしやすいとされる「シェアド・リーダーシップ」が注目されています。

### ■シェアド・リーダーシップとは

シェアは「分担」や「共有」、リーダーシップは「指導力」や「統率力」という意味を持っており、日本語では共有型リーダーシップとも呼ばれています。

従来のトップダウン型のリーダーシップとは異なり、リーダーの役割や責任をチームや組織全体で共有し、状況や課題に応じてリーダーシップを発揮するメンバーが変わるモデルのことです。



### ■シェアド・リーダーシップの特徴

#### 分散型的意思決定

意思決定が一人のリーダーに集中せず、チーム全体で行われるため、多様な視点やアイデアが取り入れられ、より創造的で効果的な解決策が生まれやすいとされています。

#### 相互依存と協力

チームメンバーは互いに協力し合って目標を達成するため、信頼関係が強化され、チーム全体のパフォーマンスが向上、仕事への満足度やモチベーションも向上しやすいとされています。

#### 柔軟な役割分担

メンバーは状況に応じてリーダーシップを発揮し、必要に応じて役割を交代することにより、各メンバーの強みを最大限に活かすことができるとされています。

### ■シェアド・リーダーシップの課題

#### 調整の難しさ

多くのメンバーが意思決定に関与するため、意見の対立が起きるなど、調整が難しくなることがあります。

#### 責任の曖昧さ

明確な責任者が存在しないことで、責任の所在が曖昧になり、決断が遅れる、トラブルが発生したときに対応しきれないことがあります。

#### リーダーシップ能力の均質化の難しさ

リーダーシップ能力に差があり、均質なリーダーシップを実現するのが難しいことがあります。

## ■シェアド・リーダーシップに求められるスキル

### 1. コミュニケーションスキル

シェアド・リーダーシップでは、チームメンバー間の情報共有や意見交換が重要です。意思や情報を正確に伝える能力や、他者の意見やアイデアを尊重し理解する姿勢が必要とされており、明確でオープンなコミュニケーションができることが求められます。

### 2. エンパシー(共感力)

他のメンバーの視点や感情を理解し、共感する能力が必要です。これにより、信頼関係を築き、協力しやすい環境を作ることができます。

### 3. アダプタビリティ(適応力)

状況に応じてリーダーシップを発揮するメンバーが変わるため、柔軟に役割を変えることができる適応力が求められます。

### 4. コンフリクトマネジメント(対立解消能力)

意見の対立やコンフリクトが発生した際に、効果的に解決する能力が必要です。これにより、チームの調和を保つことができます。

### 5. デシジョンメイキング(意思決定力)

迅速かつ効果的に意思決定を行う能力が求められます。シェアド・リーダーシップでは、複数のメンバーが意思決定に関与するため、協力して最適な決定を下すことが重要です。

### 6. セルフアウェアネス(自己認識)

自分の強みや弱みを理解し、他のメンバーと補完し合うことができる自己認識が必要です。これにより、チーム全体のパフォーマンスを向上させることができます。

### 7. ファシリテーションスキル

会議やディスカッションを円滑に進め、スムーズな進行を促すファシリテーションスキルが求められます。意見を引き出して議論を活発化させ、論点を明確化しつつ、全員が納得できる結論を導き出せる能力が必要とされています。

## ■シェアド・リーダーシップ実践のためのポイント

### 明確なコミュニケーション

透明性のあるコミュニケーションを維持し、全員が情報を共有できる環境を作ることが重要です。

### 信頼関係の構築

メンバー間の信頼関係を築くため、チームの状況に応じたワークショップやゲーム、ミーティングでのティーブレイク等のチームビルディング活動や、メンバーのスキルアップや目標達成を目的とした定期的なフィードバック(メンバー間でアドバイスや評価を行うこと)が効果的です。

### 役割と責任の明確化

各メンバーの役割と責任を明確にし、かつ必要に応じて柔軟に調整することが求められます。

シェアド・リーダーシップはイノベーションが求められる環境や、リモートワークなど分散したチームでは効果を発揮しやすいと言われています。プロジェクト内容や状況に応じて、シェアド・リーダーシップを取り入れてみてはいかがでしょうか。

